

「地域活性化事業として
大黒町における場外舟券発売場設置計画に反対しないことを求める」
請願書

2019年 / 12月 2日
(提出年月日)

長崎市議会議長
佐藤 正洋様

請願人

・住所：長崎市大黒町7-15

・氏名：

大黒町自治会長 片岡憲一郎

長崎駅前商店街組合長

岩崎誠一

長崎駅前まちづくり協議会代表


片岡憲一郎

・連絡先：



紹介議員

長崎市議会議員 氏名

中村俊介 

長崎市議会議員 氏名



長崎市議会議員 氏名



長崎市議会議員 氏名



◎ 「地域活性化事業として

大黒町における場外舟券発売場設置計画に反対しないことを求める」請願

1 請願の趣旨

長崎駅周辺整備にともない、長崎駅が今より約 200m 以上も西側に移動し、郵便局、長崎県営バスターミナルなど主要な集客施設も大黒町から移転する予定です。さらに、長崎駅と大黒町周辺地域をつなぐための平面横断の要望も叶っておりません。その上、幸町にも大規模な新施設の建設が予定されており、商店街のある町として、この地域一帯の環境がさらに一変するものとして大変危惧しております。

このような状況の下、今回、大きな集客が見込める公営事業（添付資料①）を誘致できれば、地域全体が活性するだけでなく、長崎市に交付される環境整備費で、長崎駅周辺エリアの夜間景観の整備や長崎駅前商店街の電線整備等にも充当でき、より一層、きれいで明るい街づくりへの取り組みが可能になり、さらには防犯対策の強化や防災活動などの社会資本の整備に充当することも可能です。この施設の誘致にあたり、他の場外舟券発売場の視察を行いました。風紀面においても警備員をおくなど環境を損ねることは全く考えられません。今後、利用者が減少し環境が厳しくなることが予想される大黒町にとってこの誘致は、大きなチャンスだと考えます。このような長崎駅周辺整備に伴う大黒町の今後の環境変化を見据え、自治会として町民の生活安全・地域保全を守る事が平和にもつながると考えており、また長崎を訪れる観光客等の皆様をお迎えするためにもしっかりと環境を整えていきたいと考えております。

つきましては、当自治会としては今後予測される環境変化の懸念、商店街利用者人口の減少を考慮し、この設置が『将来的な大黒町・長崎駅前商店街の地域活性化事業』に資するとし、長崎市議会におかれましても本計画には反対しないいただき、ご事情ご賢察のうえ、ご高配賜りたく存じます。

2 請願項目

今後まちづくり協議会としては、他の商店街にない独自の『顔』を作りたいと考えております。町の活性化・維持のため、MICE 利用者や観光客など一過性のお客様だけでなく、大黒町に行くことを目的とした人を呼び込み、大黒町で遊び、大黒町で食べて、大黒町で一日楽しく過ごしていただける『大人の街』をテーマに、今までとは違う長崎の色を出していきたいと考えております。

この場外舟券発売所の誘致においては、当該施設の設置自治体である大村市が運営を行い、地域の環境保全については、各地元関係者からなる運営協議会を発足し、しっかり協議して取り組んでいくこととしています。長崎市議会の皆様には、再度、大黒町住民とも協働したまちづくりを考え、地域活性化事業として大黒町における場外舟券発売場設置計画に反対しないことを求め請願いたします。